



(題字 小澤学長)

第442号
(平成13年10月)

10月のトピックス

◇ 10日 次期学長候補者に瀧澤 弘本学名誉教授を選出



△学長候補者選挙投票風景



△記者会見する瀧澤名誉教授

◇ 24日 アントレプレナー セミナーを開催



目 次

関 係 法 令	3
学 内 規 則	
◆ 富山大学私学研修員，専修学校研修員，公立高等専門学校研修員及び公立大学研修員 規則の一部を改正する規則の制定	3
◆ 富山大学留学生センター規則の一部を改正する規則の制定	4
諸 会 議	4
学 事	
◆ 全国国立大学生涯学習系センター研究協議会を開催	5
◆ 平成14年度入学者選抜の概要	5
人 事 異 動	15
学 内 諸 報	
◆ 富山・石川両県の高等学校長との懇談会を開催	16
◆ 全国国立大学学生指導担当副学長・学生部長協議会を開催	16
◆ 機器分析センター研究会を開催	17
◆ 次期学長候補者に瀧澤 弘本学名誉教授を選出	17
◆ 教育学部がアメリカ合衆国マーレイ州立大学教育学部と学部間学術交流協定を締結	18
◆ 平成13年度日本教育大学協会北陸地区会学長・副学長・学部長・学部教官合同会議を開催	18
◆ 平成13年度第1回事務職員啓発セミナーを開催	18
◆ フルブライトメモリアル基金（FMF）のアメリカ合衆国教員が来学	19
◆ 全日本吹奏楽コンクールで本学吹奏楽団が銅賞を受賞	19
◆ アントレプレナー セミナーを開催	19
◆ 全日本教育工学研究協議会全国大会2001年富山大会を開催	20
◆ 第15回経営者・研究者交流会を開催	20
◆ 学内レクリエーション	21
◆ 海外渡航者	22
主 要 行 事	23
資 料	26

関 係 法 令

(省 令)

- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令(文部科学77)(平成13.10.1 官報第3211号)
- 教育公務員特例法施行令第1条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令(同78)(同)
- 人事院規則9-6(俸給表の調整額)の一部を改正する人事院規則(同9-6-43)(同)
- 人事院規則9-8(初任給,昇格,昇給等の基準)の一部を改正する人事院規則(同9-8-44)(同)
- 人事院規則9-17(俸給の特別調整額)の一部を改正する人事院規則(同9-17-83)(同)
- 人事院規則9-30(特殊勤務手当)の一部を改正する人事院規則(同9-30-43)(同)

(規 則)

- 人事院規則9-2(俸給表の適用範囲)の一部を改正する人事院規則(人事院9-2-39)(平成13.10.1官報第3211号)

学 内 規 則

富山大学私学研修員,専修学校研修員,公立高等専門学校研修員及び公立大学研修員規則の一部を改正する規則の制定

富山大学私学研修員,専修学校研修員,公立高等専門学校研修員及び公立大学研修員規則の改正理由

- 1 「私学研修員,専修学校研修員,公立高等専門学校研修員,公立大学研修員及び教員研修センター研修員受入実施要項(平成13年3月30日文部科学省研究振興局長通知)」の制定に伴い,所要事項を改める。
- 2 字句等の整備を行う。

富山大学私学研修員,専修学校研修員,公立高等専門学校研修員及び公立大学研修員規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年10月19日

富山大学長 小 澤 浩

富山大学私学研修員,専修学校研修員,公立高等専門学校研修員及び公立大学研修員規則の一部を改正する規則

富山大学私学研修員,専修学校研修員,公立高等専門学校研修員及び公立大学研修員規則(昭和59年2月17日制定)の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

富山大学私学研修員,専修学校研修員,公立高等専門学校研修員,公立大学研修員及び教員研修センター研修員規則

第1条を次のように改める。

(趣 旨)

第1条 この規則は,私学研修員,専修学校研修員,公立高等専門学校研修員,公立大学研修員及び教員研修センター研修員受入実施要項(平成13年3月30日文部科学省研究振興局長通知)に基づく私学研修員,専修学校研修員,公立高等専門学校研修員,公立大学研修員及び教員研修センター研修員(以下「私学等研修員」という。)を富山大学(以下「本学」という。)に受け入れる場合の取

扱いに関し必要な事項を定めるものとする。

第2条中「公立大学」を「公立大学等」に改める。

第3条中「私学研修福祉会,専修学校教育振興会,公立高等専門学校長,又は公立大学長から私学等研修員の受入れ申請があつたときは」を「私学研修福祉会,専修学校教育振興会,公立高等専門学校長,公立大学長又は教員研修センターから私学等研修員の受入れ申請があつたときは」に改める。

第4条中「特別の理由がある場合には6月又は3月」を「特別の事情のある場合には,その期間において,研究期間を6か月又は3か月に改める。

第6条を次のように改める。

(研究料)

第6条 研究料は,「受託研究員,私学研修員,専修学校研修員,公立高等専門学校研修員,公立大学研修員及び教員研修センター研修員の研究料について(文部科学省研究振興局長通知)」による。

附 則

この規則は,平成13年10月19日から施行し,平成13年4月1日から適用する。

富山大学留学生センター規則の一部を改正する規則の制定

富山大学留学生センター規則の改正理由

外国人留学生に係る入学前における予備教育については、留学生センター設置時から大学院入学前予備教育として実施しているところであるが、日韓共同理工系学部留学生を受け入れることに伴い、所要事項を明記する。

富山大学留学生センター規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年10月19日

富山大学長 小 澤 浩

富山大学留学生センター規則の一部を改正する規則

富山大学留学生センター規則（平成11年3月31日制定）の一部を次のように改正する。

第3条中第5号を第6号とし、第2号から第4号までを1号ずつ繰り下げ、第1号の次に次の1号を加える。

(2) 外国人留学生に係る入学前における予備教育（以下「予備教育」という。）

附 則

この規則は、平成13年10月19日から施行し、平成13年10月1日から適用する。



学長候補者選挙管理委員会（10月1日）

（議 題）

- (1) 本選挙候補者の経歴書について
- (2) 本選挙不在者投票について
- (3) 不在者投票の立会について
- (4) 選挙当日の日程について

(2) 富山大学学長候補者選挙に関する問題点について

国立大学の設置形態に関する検討特別委員会（10月18日）

（議 題）

- (1) 新しい「国立大学法人」像について（中間報告）に対する意見等について

国立大学再編・統合検討委員会（10月5日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

附属図書館運営委員会（10月18日）

（審議事項）

- (1) 次期附属図書館長候補適任者の選考方法及び日程について
- (2) 特別図書の選定について
- (3) 研究紀要等の収集方針について

学長候補者選挙管理委員会（10月10日）

（議 題）

- (1) 学長候補者選挙本選挙の選挙資格者数について
- (2) 本選挙不在者投票状況について
- (3) 本選挙の実施について
- (4) 投票結果の確認・公示について

評議会（10月19日）

（審議事項）

- (1) 富山大学留学生センター規則の一部改正について

入学試験実施委員会（10月11日）

（審議事項）

- (1) 平成14年度入試情報開示（一般選抜、専門高校・総合学科卒業生選抜、私費外国人留学生選抜）について
- (2) 平成14年度入学試験の電算処理に伴う指示書について
- (3) 平成16年度入学者選抜に係る教科・科目等について
- (4) 入学者選抜に係る実施体制の見直しについて

国立大学再編・統合検討委員会（10月19日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

部局長会議（10月23日）

（審議事項）

- (1) 在外研究員の推薦順位について

学長候補者選挙管理委員会（10月12日）

（議 題）

- (1) 富山大学学長候補者選挙選挙記録について

教養教育運営協議会（10月23日）

（審議事項）

- (1) 教養教育の見直しについて

学

事

全国国立大学生涯学習系センター研究協議会を開催

第23回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会が、10月25日(木)～26日(金)の両日、本学の当番により、富山国際会議場において開催され、全国26の大学・短期大学生涯学習系センターから74名の教官、事務担当者及び本学事務局関係者9名が参加しました。

25日の会議では、小澤 浩学長及び文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課の金口恭久課長の挨拶に続き、①公開講座等事業に関する広報活動の取り組みについて②高等教育機関によるリカレント教育—その調査研究と実践例—③公開講座の独立採算開講について④今後の協議会の開催方法について—SCS利用による開催、または地域別分科会方式についての検討—を協議事項として各大学の取組状況及び情報交換について熱心な討議が行われました。翌26日の会議では、パネルディスカッション「インターネットによる大学開放の可能性」が開催され、最初に米田政明 本学工学部教授の基調講演に引き続き、①久津武司 富山県教育委員会生涯学習室長から「インターネットを活用した県教育委員会の施策」について②長谷川総一郎 本学教育学部教授から「インターネット市民塾を実施して」について③柵 富雄(株)インテック行政システム事業本部参事から「企業人の学習の変化」について報告があり、その後活発な質疑討論が行われました。

なお、平成15年度には静岡大学において、平成16年度には琉球大学において開催が予定されています。



平成14年度入学者選抜の概要

平成14年度入学者選抜の概要と昨年度との主な変更点

1 一般選抜

(1)実施方式及び実施日程

日程は、国立大学協会からの「国立大学の入学者選抜についての平成14年度実施要領」に基づく変更であり、年月日並びに曜日の変更が主である。〔 〕は、昨年度の実施日程)

○出願期間

平成14年1月28日(月)～2月6日(水)〔1月29日(月)～2月6日(火)〕

○検査期日

前期日程:平成14年2月25日(月)〔2月25日(日)〕

後期日程:平成14年3月12日(火)〔3月12日(月)〕

○合格発表

前期日程:平成14年3月7日(木)〔3月7日(水)〕

後期日程:平成14年3月21日(木)〔3月21日(水)〕

○入学手続

前期日程:平成14年3月14日(木),15日(金)【3月14日(水),15日(木)】

後期日程:平成14年3月27日(水)【3月27日(火)】

(2) 募集人員

入学定員等(【 】は,昨年度の入学定員等)

入学定員 1,395人【1,435人】

前期日程 815人【857人】

後期日程 302人【301人】

専門高校等選抜 8人【8人】

特別選抜 270人【269人】

(3) 出願資格

変更なし

(4) 入学者選抜実施教科・科目等

①人文学部

○「大学入試センター試験」の「外国語」選択科目に「韓国語」を追加する。

②教育学部

○「大学入試センター試験」の「外国語」選択科目に「韓国語」を追加する。

○「生涯教育課程・生涯スポーツ専攻」の「大学入試センター試験の利用教科・科目」

・「後期日程」の「利用教科・科目」について変更する。

「国Ⅰ・国Ⅱ」→「〔国Ⅰ・国Ⅱ〕,〔世A,世B,日A,日B,地理A,地理B〕,〔現社,倫,政経〕,〔数Ⅰ・数A,数Ⅱ・数B,工,簿,情報〕,〔総理,物B,化B,生B,地学B〕から1」

・「後期日程」の「個別学力検査科目」について変更する。

「体育実技」→「面接(スポーツ活動調書の内容を含む)」

③経済学部

「大学入試センター試験」の「外国語」選択科目に「韓国語」を追加する。

④理学部

「大学入試センター試験」の「外国語」選択科目に「韓国語」を追加する。

⑤工学部

○「大学入試センター試験」の「外国語」選択科目に「韓国語」を追加する。

○「電気電子システム工学科」の「大学入試センター試験の利用教科・科目」

・「前期日程」の「国語」について変更する。

「国Ⅰ・国Ⅱ」→「国Ⅰ,国Ⅰ・国Ⅱから1」

・「後期日程」の「国語」について変更する。

「国Ⅰ・国Ⅱ」→「国Ⅰ,国Ⅰ・国Ⅱから1」

・「専門高校・総合学科卒業生選抜」の「国語」について変更する。

「国Ⅰ・国Ⅱ」→「国Ⅰ,国Ⅰ・国Ⅱから1」

○「機械知能システム工学科」の「大学入試センター試験の利用教科・科目」

・「前期日程」の「国語」について変更する。

「国Ⅰ・国Ⅱ」→「国Ⅰ,国Ⅰ・国Ⅱから1」

・「後期日程」の「国語」について変更する。

「国Ⅰ・国Ⅱ」→「国Ⅰ,国Ⅰ・国Ⅱから1」

・「専門高校・総合学科卒業生選抜」の「国語」について変更する。

「国Ⅰ・国Ⅱ」→「国Ⅰ,国Ⅰ・国Ⅱから1」

○「物質生命システム工学科」の「大学入試センター試験の利用教科・科目」

・「前期日程」の「国語」について変更する。

「国Ⅰ・国Ⅱ」→「国Ⅰ,国Ⅰ・国Ⅱから1」

・「後期日程」の「国語」について変更する。

「国Ⅰ・国Ⅱ」→「国Ⅰ,国Ⅰ・国Ⅱから1」

・「専門高校・総合学科卒業生選抜」の「国語」について変更する。

「国Ⅰ・国Ⅱ」→「国Ⅰ,国Ⅰ・国Ⅱから1」

2 特別選抜

(1) 実施方式及び実施日程(【 】は、昨年度の実施日程)

◎大学入試センター試験を課さない特別選抜(人文学部推薦入学を除く)

- 願書受付 平成13年11月6日(火)～11月12日(月)【11月2日(木)～11月9日(木)】
- 検査期日 平成13年11月28日(水)【11月22日(水)】
- 合格発表 平成13年12月7日(金)【12月1日(金)】
- 入学手続 平成14年2月18日(月)【2月16日(金)】

◎大学入試センター試験を課す特別選抜(人文学部推薦入学)

- 願書受付 平成13年12月13日(木)～12月19日(水)【12月11日(月)～12月15日(金)】
- 検査期日 平成14年1月23日(水)【1月17日(水)】
- 合格発表 平成14年2月10日(日)【2月10日(土)】
- 入学手続 平成14年2月18日(月)【2月16日(金)】

(2) 募集人員

○教育学部

◎推薦入学

- ・生涯教育課程・発達臨床専攻で募集人員を変更する。
2 → 3

(3) 出願資格

変更なし

(4) 入学者選抜実施教科・科目等

①人文学部

◎推薦入学

- ・「大学入試センター試験」の「外国語」選択科目に「韓国語」を追加する。

②教育学部

◎推薦入学

- ・情報教育課程・教育情報システム専攻
「小論文」を「小論文」(コンピュータ及びインターネットを利用した情報活用の実践力を含む)とした。

◎社会人特別選抜

- ・情報教育課程・教育情報システム専攻
「小論文」を「小論文」(コンピュータ及びインターネットを利用した情報活用の実践力を含む)とした。

③経済学部: 変更なし

④理学部: 変更なし

⑤工学部: 変更なし

3 私費外国人留学生特別選抜

(1) 実施方式及び実施日程(【 】は、昨年度の実施日程)

- 出願期間 平成14年1月28日(月)～2月6日(水)【1月29日(月)～2月6日(火)】
- 検査期日 平成14年2月25日(月)【2月25日(日)】
- 合格発表 平成14年3月7日(木)【3月7日(水)】
- 入学手続 平成14年3月14日(木), 15日(金)【3月14日(水), 15日(木)】

(2) 募集人員

変更なし

(3) 出願資格

変更なし

(4) 入学者選抜実施教科・科目等

変更なし

1. 入学定員（募集人員）

学部	学 科・課程等	入 学 定 員	一般選抜募集人員		専門高校・ 総合学科 卒業生選抜 (前期日程)	特別選抜募集人員			備 考	
			前期日程	後期日程		推薦入学	帰国子女特別選抜	社会人特別選抜		
人文学部	人 文 学 科	60	36	13		10	若干名	1		
	国 際 文 化 学 科	50	30	11		8	若干名	1		
	言 語 文 化 学 科	75	45	17		12	若干名	1		
	計	185	111	41		30	若干名	3		
教育学部	学 校 教 育 系 (教育学・学校心理学・幼児教育専攻)	23	14	9						
	障 害 児 教 育 系 (障 害 児 教 育 専 攻)	7	5	2						
	言 語 ・ 社 会 系 (国語教育・英語教育・社会科教育専攻)	25	17	8						
	自 然 ・ 生 活 系 (数学教育・理科教育・技術教育・家政教育専攻)	25	19	6						
	芸 術 ・ 体 育 系 (音楽教育・美術教育・保健体育専攻)	20	7	5		8	若干名 (保健体育専攻)	若干名 (保健体育専攻)	推薦入学は、音楽教育専攻 2名、美術教育専攻3名、 保健体育専攻3名	
	小 計	100	62	30		8	若干名	若干名		
	生涯教育課程	発 達 臨 床 専 攻	10	4	3		3		若干名	
		生 涯 ス ポ ー ツ 専 攻	10	4	3		3	若干名	若干名	
		人 間 環 境 専 攻	20	14	6				若干名	
		小 計	40	22	12		6	若干名	若干名	
	情報教育課程	教 育 情 報 シ ス テ ム 専 攻	20	8	4		8		若干名	
		マ ル チ メ デ ィ ア 芸 術 専 攻	10	4	2		4		若干名	
		小 計	30	12	6		12		若干名	
計	170	96	48		26	若干名	若干名			
経済学部	昼間主コース	経 済 学 科	135	80	31		24	若干名		
		経 営 学 科	115	71	24		20	若干名		
		経 営 法 学 科	95	59	20		16	若干名		
		小 計	345	210	75		60	若干名		
	夜間主コース	経 済 学 科	20	3	7				10	
		経 営 学 科	20	3	7				10	
		経 営 法 学 科	20	3	7				10	
		小 計	60	9	21				30	
計	405	219	96		60	若干名	30			
理学部	数 学 科	50	28	6		15	若干名	1		
	物 理 学 科	40	26	6		7	若干名	1		
	化 学 科	35	22	7		5	若干名	1		
	生 物 学 科	35	23	5		5	若干名	2		
	地 球 科 学 科	40	29	9			若干名	2		
	生 物 圏 環 境 科 学 科	30	19	5		5	若干名	1		
	計	230	147	38		37	若干名	8		
工学部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	88	52	18	2	15	若干名	1		
	知 能 情 報 工 学 科	78	45	16	2	14	若干名	1		
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科	88	52	17	2	16	若干名	1		
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科	151	93	28	2	27	若干名	1		
	計	405	242	79	8	72	若干名	4		
合 計	1,395	815	302	8	225	若干名	45			

2. 平成14年度富山大学入学者選抜方法等

(1) 一般選抜（前期日程）

学部・学科名		選抜方法等		個別学力検査等						専門高校・総合学科卒業生選抜				アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)	
		個別学力検査を課する		実技検査等		2段階選抜				個別学力検査を課する							募集人員
		実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階の選抜による合格者数		その他	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する					
						主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により、その段階に必要となる者について等を行う	定員に対する倍率										
人文学部	人文学科																
	国際文化学科	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×			
	言語文化学科																
教育学部	学校教育系	教育学専攻															
		学校心理学専攻	×	×	×	○	×										
		幼児教育専攻															
	障害児教育系	障害児教育専攻	×	×	×	○	×										
		言語・社会系	国語教育専攻														
			英語教育専攻	○	×	×	×	×									
	社会科教育専攻																
	自然・生活系	数学教育専攻															
		理科教育専攻	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×		
		技術教育専攻						×									
		家政教育専攻															
	芸術・体育系	音楽教育専攻	×	○	×	×	×										
		美術教育専攻	×	○	×	○	×										
保健体育専攻		×	○	×	×	×											
生涯教育課程	発達臨床専攻	×	×	×	○	×											
	生涯スポーツ専攻	×	○	×	×	×											
	人間環境専攻	○	×	×	×	×											
情報教育課程	教育情報システム専攻	○	×	×	×	×											
	マルチメディア芸術専攻	×	×	×	○	×											

2月25日(月)

欠員補充の方法等は、学生募集要項に記載。

※美術教育専攻の個別学力検査等の実技検査等については、実技検査又は小論文のうちいずれかを選択させる。

学部・学科名		選抜方法等		個別学力検査等						専門高校・総合学科卒業生選抜				アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)
		個別学力検査を課する	実技検査等			2段階選抜			個別学力検査を課する	実技検査等			募集人員			
			面接を課する	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その者について必要等	第1段階の選抜合格者数	その他の		面接を課する	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する				
経済学部	昼間主コース	経済学科													2月25日(月)	欠員補充の方法等は、学生募集要項に記載。
		経営学科	○	×	×	×	×									
		経営法学科														
	夜間主コース	経済学科														
		経営学科	×	×	×	×	×									
		経営法学科														
理学部	数学科															
	物理学科															
	化学科															
	生物学科	○	×	×	×	×										
	地球科学科															
工学部	電気電子システム工学科												2人			
	知能情報工学科	○	×	×	×	×							2人			
	機械知能システム工学科												2人			
	物質生命システム工学科												2人			

- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。
 3. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

(2) 一般選抜(後期日程)

学部・学科名	選抜方法等				個別学力検査等				専門高校・総合学科 卒業生選抜				アドミ SSION・ OFFICE入試	個別 学力 検査 等 の 日 程	備 考 (欠員の補充の方法等)		
	個別 学力 検査 を 課 す る				実技検査等				2 段階 選 抜							募 集 人 員	
	実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外 語 に お け る リス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る	主として、調 査書の内容と 大学入試セ ンター試験 の成績より 第1段階選 抜を行い、 その必要 者について 検査を行 う	第1段階の 選抜による 合格者数		個 別 学 力 検 査 を 課 す る	実技検査等								
						定員 に 対 す る 倍 率	そ の 他		実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外 語 に お け る リス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る					
人文学部	人文学部	国際文化学科	言語文化学科													欠員補充の方法等は、学生募集要項に記載。	
教育学部	学校教育学系	教育学専攻													3 月 12 日 (火)		
		学校心理学専攻	×	×	×	○	×										
		幼児教育専攻															
	障害児教育学系	障害児教育専攻	×	×	×	○	×										
		言語・社会系	国語教育専攻														
			英語教育専攻	×	×	×	○	×									
	社会科教育専攻																
	自然・生活系	数学教育専攻															
		理科教育専攻	×	×	○	×	×										
		技術教育専攻					×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		家政教育専攻															
	芸術・体育系	音楽教育専攻															
美術教育専攻		×	○	×	×	×											
保健体育専攻																	
生涯教育課程	発達臨床専攻	×	×	×	○	×											
	生涯スポーツ専攻	×	×	○	×	×											
	人間環境専攻	×	×	×	○	×											
情報教育課程	教育情報システム専攻	×	×	×	○	×											
	マルチメディア芸術専攻	×	×	○	○	×											

選抜方法等 学部・学科名			個別学力検査等						専門高校・総合学科 卒業生選抜				アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考 (欠員の補充の方法等)		
			個別 学力 検査 を課 する	実技検査等			2段階選抜			個別 学力 検査 を課 する	実技検査等					募 集 人 員	
				実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容とセンター試験の成績により第1段階選抜を行い、その者について必要等を行う	第1段階の選抜による合格者数		その他	実 技 検 査 を 課 す る					面 接 を 行 う
経済学部	昼間主 コース	経済学科												3 月 12 日 (火)	欠員補充の方法等は、学生募集要項に記載。		
		経営学科	○	×	×	×	×										
		経営法学科															
	夜間主 コース	経済学科					×	×	×	×	×	×	×				
		経営学科	○	×	×	×	×										
		経営法学科															
理学部	数 学 科	数学科	×	×	×	×	×							12 日 (火)			
		物理学科	×	×	×	○	×										
		化学科	×	×	×	○	×										
	生 物 学 科	生物学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×				
		地球科学科	×	×	×	×	×										
		生物圏環境科学科	×	×	○	×	×										
工学部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	電気電子システム工学科	×	×	×	×	×										
		知能情報工学科	×	×	×	×	×										
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科	機械知能システム工学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
		物質生命システム工学科	×	×	○	×	×										

- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。
 3. 調査書に㊤標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

(3) 特別選抜

学部・学科名		選抜方法等		推 薦 入 学							帰国子女・社会人等のための特別選抜			備 考 (欠員の補充の方法等)
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する		実 技 検 査 等				推 薦 入 学 募 集 人 員	帰 国 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人			
		個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る					そ の 他		
人文学部	人文学科								10人					
	国際文化学科	○	×	×	×	○	×	×	8人	○	×	○		
	言語文化学科								12人					
教育学部	学校教育系	教育学専攻												
		学校心理学専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		幼児教育専攻												
	障害児教育系	障害児教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	言語・社会系	国語教育専攻												
		英語教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		社会科教育専攻												
	自然・生活系	数学教育専攻												
		理科教育専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		技術教育専攻												
		家政教育専攻												
	芸術・体育系	音楽教育専攻								2人				
美術教育専攻		×	○	○	○	×	×	×	3人	×	×	×		
保健体育専攻									3人	○		○		
生涯教育課程	発達臨床専攻	×	○	×	○	×	×	×	3人	×	×	○		
	生涯スポーツ専攻	×	○	×	○	×	×	×	3人	○	×	○		
	人間環境専攻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
情報教育課程	教育情報システム専攻	×	○	×	○	○	×	×	8人	×	×	○		
	マルチメディア芸術専攻	×	○	×	○	○	×	×	4人	×	×	○		

選抜方法等			推 薦 入 学							帰国子女・社会人等のための特別選抜			備 考	
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する							推 薦 入 学 募 集 人 員	婦 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女		社 会 人
			個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実 技 検 査 等									
実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る			外 語 に お け る リスニングテストを課する	そ の 他								
学部・学科名														
経 済 学 部	昼間主 コース	経済学科							12人				推薦入学について 各学科の募集人員欄中、上段は職業教育を主とする学科以外の学科を、また、下段は職業教育を主とする学科を対象とした募集人員をそれぞれ示す。	
		経営学科	×	○	×	○	×	×	12人 10人 10人	○	×	×		
		経営法学科							8人 8人					
	夜間主 コース	経済学科												
		経営学科	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
		経営法学科												
理 学 部	数 学 科	×	○	×	○	○	×	×	15人				推薦入学について ① 面接には、基礎学力に関する試問を含む。 ② 各学科の募集人員欄中、上段は普通科・理数科を、また、下段は専門教育を主とする学科(工業)及び総合学科を対象とした募集人員をそれぞれ示す。	
	物 理 学 科	×	○	×	○	○	×	×	7人					
	化 学 科	×	○	×	○	○	×	×	5人	○	×	○		
	生 物 学 科	×	○	×	○	○	×	×	5人					
	地 球 科 学 科	×	×	×	×	×	×	×						
	生 物 圏 環 境 科 学 科	×	○	×	○	○	×	×	5人					
工 学 部	電気電子システム工学科								9人 6人				推薦入学について ① 面接には、基礎学力に関する試問を含む。 ② 各学科の募集人員欄中、上段は普通科・理数科を、また、下段は専門教育を主とする学科(工業)及び総合学科を対象とした募集人員をそれぞれ示す。	
	知 能 情 報 工 学 科	×	○	×	○	○	×	×	8人 6人	○	×	○		
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科								10人 6人					
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科								16人 11人					

- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。
 3. 調査書に㊸標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	13.10.1	石崎 健生		文部科学事務官(総務部研究協力課)
	"	堀田 誠一		" (経理部主計課)
	"	林 成剛		" (経理部契約室)
	"	西川 幹郎		" (人文学部・理学部)
	"	津田 邦史		技術補佐員(総合情報処理センター)
	"	林 弘貴		" "
	"	柳澤健太郎		" "
	13.10.15	齊藤 國雄		臨時用務員(人文学部・理学部作業員)
昇 任	13.10.1	清家 彰敏	助教授 経済学部(経営学科 経営学)	教 授 経済学部(経営学科 経営学)
	"	長谷川 隆	" " (経営法学科 民事法)	" " (経営法学科 民事法)
	"	中村 肇	講 師 " "	助教授 " "
	"	蓮覚寺聖一	助教授 工学部(物質生命システム工学部応用化学)	教 授 工学部(物質生命システム工学部応用化学)
	"	辻 瑞樹	助 手 理学部	助教授 琉球大学 農学部
転 任	13.10.1	小畑 史子	助教授 経済学部(経営法学科 企業関係法)	助教授 京都大学 総合人間学部
	"	川上 貴教	独立行政法人産業技術総合研究所研究員	助 手 理学部(物理学科 物性物理学)
	"	高山 恭一	経理部契約室	東京大学(総務部人事課)
配 置 換	13.10.1	田中 茂	人文学部・理学部教務第二係主任	工学部教務係主任
辞 職	13.10.31	筒井 洋一	教 授(人文学部)	辞 職
任用更新	13.10.1	高橋 純	技術補佐員(総合情報処理センター)	任用を更新する(～14. 3.31)
	"	早河 秀章	" "	"
	"	山下 淳	" "	"
	"	中村 誠	" "	"
	"	細川 薫	" "	"
	"	森田 和延	" "	"
	"	綿貫 俊之	" "	"
休 職	13.10.1	松井 博文	総務部企画室大学改革係主任	期間更新(～13.12.31)
退 職	13.10.1	佐藤 宏隆	技術補佐員(総合情報処理センター)	平成13年9月30日限り退職
	"	河合 宏文	" "	"
	"	山崎 剣治	" "	"
	"	山口 真悟	" "	"
育児休業	13.10.24	平田 暁子	文部科学技官(工学部)	育児休業(～13.11.30)
職務命令	13.10.1	川上 貴教	助 手 理学部	水質保全センター勤務を命ずる
	"	加賀谷重浩	講 師 工学部	水質保全センター勤務を命ずる
	"	米田 政明	教 授 "	技術部長を命ずる(～15. 9.30)

学 内 諸 報**富山・石川両県の高等学校長との懇談会を開催**

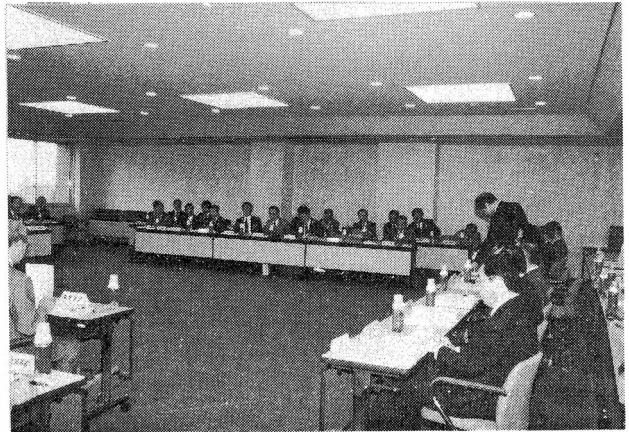
10月2日(火)に平成13年度高等学校長協会と本学との懇談会が開催されました。

この懇談会は、高等学校と大学との接点である大学入試を中心として、それぞれの教育の現状や問題点について意見交換を行い、相互理解を深めることを目的として、毎年開催されているものです。

今回の懇談会には、富山県内から40校、石川県内から16校の高等学校長及び富山県教育委員会関係者1名の計57名と、本学から小澤学長、鈴木副学長及び各学部長が出席しました。

会議では、小澤学長から人文学部の合否判定過誤とその後の対応の誤りについての謝罪及び改善に向けての検討状況の報告等があった後、中田富山県高等学校長協会長の挨拶、鈴木副学長からの大学概要の説明及び各学部長から近況説明が行われました。

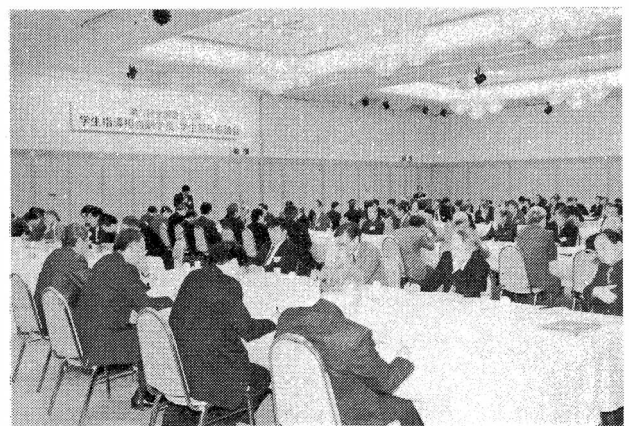
その後、「大学入試センター試験の5教科7科目の導入について」を議題に活発な意見交換が行われ、実り多い懇談会となりました。

**全国国立大学学生指導担当副学長・学生部長協議会を開催**

第22回全国国立大学学生指導担当副学長・学生部長協議会が10月4日(木)・5日(金)の両日、本学を当番校として、名鉄トヤマホテルにおいて開催されました。

この協議会は、学生の厚生補導等に関する諸問題について協議し、それらの改善、充実を図ることを目的として年1回開催されているものです。

今回の協議会には、全国の国立大学から99名の副学長・学生部長が出席し、また、文部科学省から戸渡高等教育局学生課長及び齊藤 就職指導専門官が同席され、本学鈴木副学長が議長を務める中、①国立大学の再編、統合の可能性とそれが及ぼす影響②学生による授業評価③入試事務におけるミス防止策④学生相談窓口の利用と今後の相談体制について、各大学の現状や検討状況について熱心な意見交換が行われました。



機器分析センター研究会を開催

機器分析センター2001年度第1回研究会が10月5日(金)に本学工学部大会議室において開催されました。この研究会は、最新の研究や分析技術に関する話題を基に、学内外を問わず関心のある方々と情報交換し研究や技術内容を発展させるとともに教育研究効果の向上に資する目的で昨年発足したものです。

今回は、当センターの物性計測部門を中心に企画・立案され、低温液化室との共催で、「SQUIDを利用した磁気特性システムによる磁気分析と核偏極法を利用した磁気異方性」をテーマとして、理・工学部の教官、学生及び学外者等約50名が参加しました。

最初に、広島大学大学院先端物質科学研究科藤田敏三教授による「SQUIDの原理とその応用法」と題しての基調講演があり、次いで、本学理学部地球科学科廣岡公夫教授、物理学科桑井智彦助教授及び工学部物質生命システム工学科西村克彦助教授3氏による研究報告が行われ、SQUIDを利用した多種多様な研究方法が紹介されました。

その後、これらの報告をもとに活発な議論が行われ、参加者はSQUIDの更なる可能性を知ることが出来ました。



△講演する広島大学大学院先端物質科学研究科藤田敏三教授

次期学長候補者に瀧澤 弘本学名誉教授を選出

小澤 浩学長が平成13年10月31日限りで辞任することに伴い、次期学長候補者の選考が行われました。

学長候補者選挙管理委員会に学長候補者として次の3氏が推薦され、10月10日(水)に選挙を行った結果、瀧澤 弘本学名誉教授が学長候補者となり、同日開催の評議会において次期学長候補者に決定しました。任期は、富山大学学長選考規則に基づき平成13年11月1日から4年間。

河 野 昭 一(京都大学名誉教授)
 瀧 澤 弘(富山大学名誉教授)
 塚 野 州 一(富山大学教育学部長)

瀧澤名誉教授は、昭和32年3月富山大学文理学部を卒業、同35年3月九州大学大学院文学研究科修士課程を修了後、同36年6月に鳥取大学学芸学部助手に採用され、同39年1月同講師、同41年4月同大学教育学部講師、同42年4月同大学教養部講師、同42年12月同助教授、同49年5月富山大学教養部助教授、同53年4月同教授を経て平成5年4月に富山大学教育学部教授に就任され、同12年3月31日限り停年により退職されました。

この間、昭和54年4月から同56年4月まで評議員を、同62年5月から平成3年5月まで学生部長を、平成6年2月から同10年2月まで附属図書館長を併任されました。専門はドイツ文学。富山県出身。

教育学部がアメリカ合衆国マーレイ州立大学教育学部と学部間学術交流協定を締結

10月11日(木)に本学教育学部が、アメリカ合衆国マーレイ州立大学教育学部と学部間学術交流協定を締結しました。

調印式は、本学教育学部会議室において行われ、マーレイ州立大学のジャック・ローズ教育学部長と本学の塚野州一教育学部長により、両学部間の友好と学術交流(①学術情報等の交換,②研究者等の交流,③学生の交流)の促進を図るための協定を締結し、今後のますますの発展を祈念して堅い握手が交わされました。

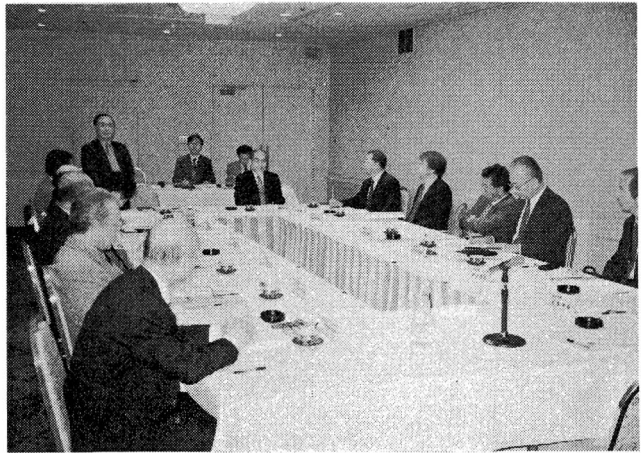
マーレイ州立大学は、アメリカ合衆国ケンタッキー州の西部に位置し、1922年に創設された6学部から成る総合大学であり、同教育学部は教員養成を主目的として充実した教師教育や生涯教育に取り組んでいることで知られています。



平成13年度日本教育大学協会北陸地区会学長・副学長・学部長・学部教官合同会議を開催

10月12日(金)に平成13年度日本教育大学協会北陸地区会学長・副学長・学部長・学部教官合同会議が本学教育学部を当番校として、富山市の名鉄トヤマホテルにおいて開催されました。

この会議は、北陸地区(新潟大学、上越教育大学、金沢大学、福井大学、信州大学及び富山大学)の教員養成大学・学部の学長、副学長、学部長及び学部教官が毎年一堂に会するもので、今年は「大学の構造改革における教員養成系大学・学部の在り方」、「大学の再編統合」及び「大学の入試改革」等をテーマとして終始熱心に討議が行われました。

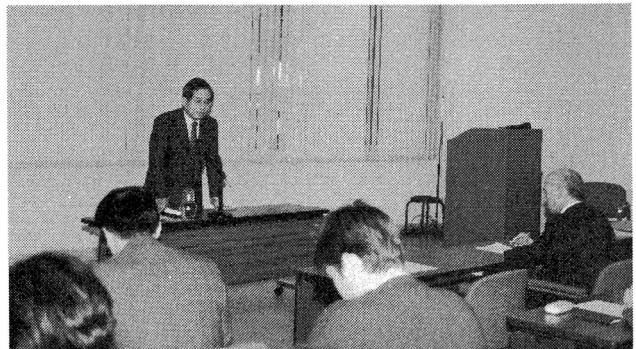


平成13年度第1回事務職員啓発セミナーを開催

平成13年度第1回本学事務職員啓発セミナーが10月15日(月)に黒田講堂において開催されました。

講師に黒田定男・東京成徳大学事務局長を迎え、同氏が神戸大学在職中に遭遇した阪神大震災の体験を基にして危機管理について講演され、日頃の備えの肝心さ、情報の収集・整理と管理の一元化、危機管理対応策の円滑・迅速な決定と指揮命令系統の確立等を熱心に訴えられました。

参加した多数の事務職員は、メモを取るなどして熱心に聴き入っていました。



フルブライトメモリアル基金（FMF）のアメリカ合衆国教員が来学

10月16日（火）にフルブライトメモリアル基金（FMF）の「教育プログラム」として、アメリカ合衆国の教員20名が本学に来学されました。

このフルブライトメモリアル基金は同国の故フルブライト上院議員が提唱したフルブライト交流計画に源を発し、現在は日米教育委員会が事業の一環として行っているものであり、毎年アメリカ合衆国の多数の教育関係者が日本の教育現場を視察し、関係者との交流を深め、ホームステイ等を通じて文化・社会についても学ぶ機会を得るもので、これまで2,300人が同基金により来日し、帰国後全米各地で様々な日本関連の教育プログラムを展開しています。

一行は魚津市内の学校視察の途中来学したもので、本学教官との懇談会に出席されました。

懇談会では大学教員養成に関する役割と現状（教官数や学生数、授業内容等）及び今後の課題について活発に意見交換が行われました。

また、本学学生との交流も行なわれ、和やかに懇談していました。



全日本吹奏楽コンクールで本学吹奏楽団が銅賞を受賞

10月20日（土）に静岡県浜松市のアクトシティ浜松で開催された第49回全日本吹奏楽コンクールの大学の部に北陸代表として本学の吹奏楽団が初出場し、見事銅賞を受賞しました。

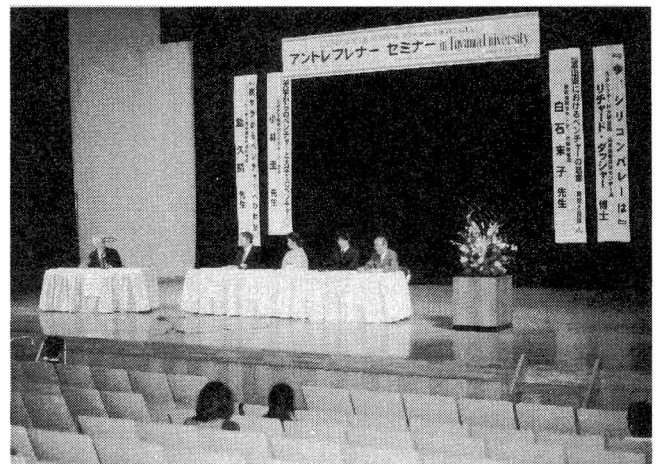
アントレプレナー セミナーを開催

企業内起業を志す人を対象としたアントレプレナー セミナーが10月24日（水）に本学ベンチャービジネスラボラトリー等の主催で黒田講堂において開催されました。

これは、本学の学生・教職員及び県内企業の社員に起業の実態を周知し、新規事業分野に対する関心を呼び起こし、今後のベンチャービジネスラボラトリーにおける研究や授業に対する意欲を高め、もって起業家の育成に寄与することを目的とするものです。

セミナーでは、まず最初にリチャード・ダッシャー・アメリカ合衆国スタンフォード大学教授が「今、シリコンバレーは」と題する基調講演を行い、世界の産学連携の実情やIT産業の動向などについて紹介されました。続いて、白石末子（株）ラポージェ代表取締役が県内のベンチャーの起業について講演するなど、計4つの講演会が行われました。

その後、各講演者と参加者との質疑応答が行われました。



全日本教育工学研究協議会全国大会2001年富山大会を開催

教育の情報化、インターネット等ネットワークを活用した情報教育支援のプロジェクトなど、国や産学官の連携による情報化支援事業の動向を踏まえた21世紀の情報教育の望ましいあり方を探る第27回全日本教育工学研究協議会全国大会、第15回コンピュータ教育研究協議会全国大会及び第7回全日本情報教育研究協議会全国大会が10月26日(金)及び同27日(土)に富山県内で開催されました。

このうち、26日に富山県教育文化会館で開催された全体会では、本学の山西潤一教育学部教授をコーディネータとして、4人のパネリストによる「21世紀の情報教育の展開」と題するシンポジウムが行われ、全国から多数の研究者等が参加しました。

またこの後、中尾哲雄(株)インテック取締役社長の講演等も行われました。

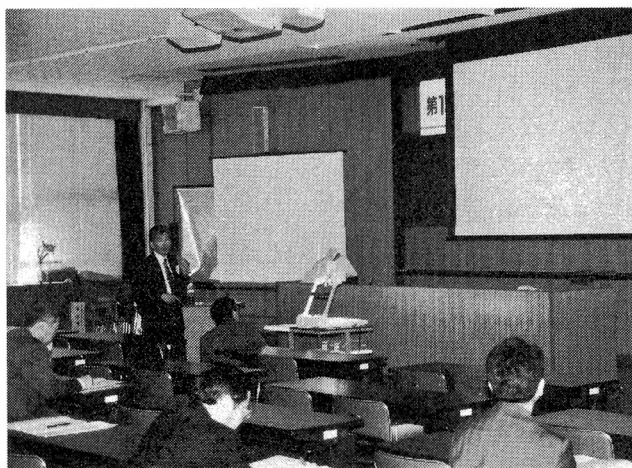


第15回経営者・研究者交流会を開催

第15回経営者・研究者交流会が本学工学部を会場として10月31日(水)に開催されました。

水川博義・本学地域共同研究センター長の挨拶に引き続き、谷垣昌敬・京都大学国際融合創造センター教授の「21世紀における我が国の科学技術戦略と京都大学の産学連携構想」と題した講演会が行われ、文部科学省を中心とする我が国の科学技術戦略と今後の大学の役割や期待等に約190名の参加者は熱心に聴き入っていました。

その後、6会場で分科会が開催され、18のテーマについて、企業の研究者や大学教官から研究成果の発表がありました。また、この中の産学連携推進分科会では、研究成果の発表の後、「地域連携における大学の新しい役割」についてパネルディスカッションが行われ、活発な意見交換や質疑応答が行われました。



△講演する谷垣昌敬 京都大学国際融合創造センター教授

学 内 レ ク リ エ ー シ ョ ン

硬式庭球大会を開催

平成13年度学内レクリエーション硬式庭球大会が9月29日(土)に本学軟式庭球場に於いて開催されました。

開催当日はすがすがしい好天に恵まれ、テニス好きの職員約30名の参加がありました。

大会は、部局対抗のダブルス戦で進められ、勝ちゲーム数の総合得点で順位を決めるルールが採られました。中には、男女混合組もあり、息を飲む熱戦を繰り広げ、参加者は心地よい汗を流していました。

試合の結果、三連覇を狙っていた経済学部等を押しのけて、事務局が総合得点で優勝し、元号が平成にあらたまって以来初の栄冠を手に入れました。

- ☆優 勝 事務局
- ☆準優勝 工学部



海外渡航者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
外国出張	工 学 部	教 授	米田 政明	オーストラリア	第8回Intelligent Transport Systems 国際会議に出席, 研究発表	13.10. 2 ~13.10. 7
	工 学 部	助教授	佐藤 雅弘	アメリカ合衆国	超音波シンポジウムに出席, 研究発表	13.10. 6 ~13.10.12
	工 学 部	助教授	山口 昌樹	韓国	日韓糖尿病シンポジウムに出席	13.10.11 ~13.10.14
	理 学 部	教 授	清水 正昭	ドイツ	第89回ダーレム会議(海底熱水系の エネルギーと物質移動)に出席	13.10.11 ~13.10.21
	工 学 部	教 授	唐 政	中国	学部間協定に関する打ち合わせ	13.10.11 ~13.10.16
	工 学 部	教 授	龍山 智榮	中国	学部間協定に関する打ち合わせ	13.10.11 ~13.10.16
	水素同位体科学 研究センター	助教授	波多野雄治	ドイツ	核融合炉材料に関する国際会議に出席, 研究発表	13.10.13 ~13.10.24
	水素同位体科学 研究センター	教 授	松山 政夫	ドイツ	トリチウム測定の研究に関する打合せ	13.10.13 ~13.10.28
	理 学 部	助 手	池本 弘之	ドイツ	「液体における相転移現象」セミナーに 参加	13.10.14 ~13.10.21
	教育学部	助教授	徳橋 曜	イタリア	極小国家の「国家アイデンティティ」の社会的・経 済的・文化的基盤に関する研究資料収集のため	13.10.22 ~13.11.15
	教育学部	教 授	田上 善夫	アメリカ合衆国, セントル ア, トリニダード・トバゴ	極小国家の「国家アイデンティティ」の社会的・ 経済的・文化的基盤に関する研究資料収集のため	13.10.26 ~13.11.15
工 学 部	助教授	高橋 隆一	アメリカ合衆国	第15回真空国際会議・第11回固体表面 国際会議に出席, 研究発表	13.10.28 ~13.11. 3	
海外研修	経済学部	講 師	大西 吉之	オランダ	「救貧制度から見た19世紀前期オランダ 階層社会の特徴とその変遷」の研究調査	13.10.10 ~13.12. 4
	経済学部	教 授	小松 和生	韓国	近代日朝関係史資料収集	13.10.29 ~13.11. 1

主 要 行 事

本	部
10月1日	学長候補者選挙管理委員会 事務局連絡会 職員教養研修（放送大学第2学期）開講式
2日	高等学校長協会と本学との懇談会
3日	入学式 運営会議
4日～5日	全国国立大学学生指導担当副学長・学生部長協議会（於：名鉄トヤマホテル） 夜間教育実施国立大学事務局長会議（於：山口グランドホテル）
5日	国立大学再編・統合検討委員会 機器分析センター研究会 物品定期検査
9日	北陸地区国立学校等人事担当課長会議 事務局連絡会
10日	評議会（臨時） 学長選挙 学長候補者選挙管理委員会
11日	東海・北陸施設部課長会議（於：富山大学） 入学試験実施委員会
12日	日本教育大学協会北陸地区会学長・副学長・学部長・学部教員合同会議（於：名鉄トヤマホテル） 簿記講習会 学長候補者選挙管理委員会
15日	評議会（臨時） 北陸地区国立大学長懇談会（於：金沢大学） 事務局連絡会 事務職員啓発セミナー
16日	事務協議会 フルブライトメモリアル基金（FMP）アメリカ合衆国教員来学 簿記講習会 人事担当課長会議（於：東京医科歯科大学）
17日	留学生センター外国人留学生日本語研修コース開講式 運営会議 事務系職員英会話研修（～平成13年12月25日） 平成12年度着手の全学テーマ別評価「教育サービス面における社会貢献」に関するヒアリング （於：学術総合センター）
18日	国立大学の設置形態に関する検討特別委員会
19日	評議会 国立大学再編・統合検討委員会
22日	事務局連絡会
22日～24日	富山県地区国立学校等中堅職員研修
23日	部局長会議 教養教育運営協議会
23日～24日	東海・北陸地区国立大学長会議（於：グランドホテル浜松）
25日～26日	全国国立大学生涯学習系センター研究協議会（於：富山国際会議場） 国立大学学生関係部長（相当職）協議会（於：秋田ビューホテル）
26日	日本留学試験「中部（北陸グループ）地域ブロック会議」
29日	国立大学協会臨時総会（於：学士会館）
29日～30日	東海・北陸地区国立大学事務局長会議（於：ホテルアソシア静岡ターミナル）
31日	経営者研究者交流会 事務局連絡会

人文学部

- 10月1日 学部入学試験委員会
学部将来計画委員会
- 5日 学部国際交流委員会
学部予算委員会
学部教務委員会
学部将来計画委員会
- 10日 教授会
- 17日 平成14年度富山大学人文学部第3年次編入学選抜検査
学部予算委員会（持ち回り）
緊急対策委員会
- 23日 教授会（人事）
教授会
緊急対策委員会
- 24日 学部入学試験委員会
- 25日～26日 第55回国立17大学人文学部長会議及び第24回同事務長会議（於：山口大学）
- 29日 学部将来計画委員会
- 31日 教授会（人事）
教授会

教育学部

- 10月2日 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会
- 3日 学部教務委員会
研究科小委員会
教授会
- 4日 物品定期検査
学部国際交流委員会
- 5日～12日 大学院願書受付
- 9日 学部教官懇談会
後学期授業開始
- 10日 研究科委員会
教授会
人事教授会
- 11日 アメリカ合衆国マレー州立大学との学術交流協定調印式（於：富山大学）
- 12日 日本教育大学協会北陸地区会会長・副会長・学部長・学部教員合同会議（於：富山大学）
学部拡大将来計画委員会
- 16日 フルブライト・メモリアル基金によるアメリカ人教員（18人）訪問
- 17日 学部配分比率評価委員会
学部入学試験委員会
- 18日 全国国立大学教育学部長会議（於：岡山大学）
- 18日～19日 日本教育大学協会北陸地区社会科部門研究協議会（於：富山大学）
- 19日 教育方法（FD）推進検討委員会
- 24日 平成14年度教育学研究科入学者選抜試験
教授会
学部紀要編集委員会
- 25日～26日 日本教育大学協会北陸地区理科部門研究協議会（於：富山大学）
- 26日 日本教育大学協会会長・学部長等連絡協議会（於：KKRホテル東京）
- 27日 附属中学校学習発表会
- 28日 附属養護学校学習発表会
- 29日 附属幼稚園避難訓練
- 31日 研究科小委員会
研究科委員会
学部配分比率評価委員会
学部拡大将来計画委員会
附属養護学校1日美術館

経 済 学 部

- 10月1日 学部入学試験委員会
 2日 平成13年度物品定期検査
 3日 学部教務委員会
 教授会（臨時）
 5日 将来構想検討委員会・学部教務委員会合同会議
 将来構想検討委員会
 10日 平成14年度富山大学大学院経済学研究科（修士課程）入学試験合格者選考委員会
 研究科委員会
 12日 学部入学試験委員会
 17日 学部教務委員会
 学部国際交流委員会
 人事教授会
 教授会
 22日 学部総務委員会（持ち回り）
 24日 3年生対象第2回就職ガイダンス
 研究科委員会小委員会
 31日 学部教務委員会
 学部入学試験委員会

理 学 部

- 10月3日 物品定期検査
 学部施設委員会
 4日 学部入試委員会（持ち回り）
 9日 後期授業開始
 出前講義（於：富山県立滑川高等学校）
 10日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
 教授会
 人事教授会
 大学院理工学研究科博士後期課程部会
 12日 学部施設委員会
 動物実験安全専門委員会（持ち回り）
 18日 国立22大学理学部長会議（於：KKRホテル東京）
 22日 古紙回収
 24日 学部教務委員会
 理学部教官懇談会
 25日 学部就職指導委員会
 30日 出前講義（於：富山県立滑川高等学校）
 31日 学部施設委員会

工 学 部

- 10月3日 学部入学試験検討委員会
 4日 教務委員会
 学部将来計画委員会
 10日 教授会
 専任教授会
 大学院理工学研究科博士前期課程工学部会
 大学院理工学研究科博士後期課程部会
 15日 教授会
 23日 学部学生生活委員会
 24日 学部自己点検評価委員会
 29日 学部入学試験検討委員会
 学部将来計画委員会

附属図書館

10月18日 平成13年度第3回附属図書館運営委員会
24日～25日 国立大学附属図書館協議会理事会（於：大阪大学）

地域共同研究センター

10月5日 運営委員会（持ち回り）
18日 運営委員会（持ち回り）
29日 運営委員会（持ち回り）
31日 経営者・研究者交流会



平成13年9月大学院博士学位記授与者一覧

[工学研究科（博士後期課程）]

専攻	氏名	論文題目
物質生産工学	原 陽 介	機能性薄膜材料の作製と応用に関する研究

平成12年9月30日付け

[理工学研究科（博士後期課程）]

専攻	氏名	論文題目
生命環境科学	山 村 栄 虎	大腸菌N-ヒドロキシアリールアミン O-アセチルトランスフェラーゼの精製、及び生化学的特性の解析
	成 亨 美	Archaeomagnetic Study in Korea and its Application to Archaeology

[理工学研究科（博士後期課程）]

専攻	氏名	論文題目
システム科学	土 肥 義 治	耐熱性ニッケルアルミナイドおよびそのTiC粒子強化複合材料の結晶粒微細化プロセスと高速超塑性に関する研究
	董 居 忠	Numerical Simulation on Long Wavelength Sound-Wave CT

平成13年3月31日付け

[理工学研究科（博士論文提出による博士の学位授与者）]

専攻	氏名	論文題目	授与年月日
システム科学	小 島 正 美	チベット文字認識に関する研究	平成13年9月28日



△附属幼稚園運動会



△秋の大学キャンパス

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555 富山市五福3190 TEL.(076)445-6029 FAX.(076)445-6033
印刷所 あげぼの企画(株) 〒930-0031 富山市住吉町1-5-8 TEL.(076)424-1755 FAX.(076)423-8899